

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第5部門第3区分
 【発行日】平成26年4月3日(2014.4.3)

【公表番号】特表2013-531772(P2013-531772A)
 【公表日】平成25年8月8日(2013.8.8)
 【年通号数】公開・登録公報2013-042
 【出願番号】特願2013-505382(P2013-505382)
 【国際特許分類】

F 2 4 J 2/24 (2006.01)

B 2 2 F 1/00 (2006.01)

【F I】

F 2 4 J 2/24 A

F 2 4 J 2/24 D

B 2 2 F 1/00 R

【手続補正書】

【提出日】平成26年2月12日(2014.2.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ゲッター材料粉末を含む閉じた端部を有する金属メッシュ(11)を含む水素ゲッターシステム(10; 21; 31)を含み、以下の特徴を有する太陽熱収集器レシーピングチューブ(20; 30):

- ・金属メッシュ開口部は10から200マイクロメートルの間である;
- ・ゲッター材料粉末は50から3000ミクロンの間の寸法を有する;
- ・ゲッター材料粉末の最小寸法とメッシュサイズ開口との間の比は2以上である。

【請求項2】

前記比が3以上である、請求項1に記載の太陽熱収集器レシーピングチューブ。

【請求項3】

金属メッシュが前記ゲッター材料粉末のための円筒容器を形成する、請求項1に記載の太陽熱収集器レシーピングチューブ。

【請求項4】

前記円筒容器の直径が5mmから25mmの間である、請求項3に記載の太陽熱収集器レシーピングチューブ。

【請求項5】

前記円筒容器の長さが100mmから500mmの間である、請求項3に記載の太陽熱収集器レシーピングチューブ。

【請求項6】

閉じた端部がそれらの相互結合のための結合手段(22; 32)を有する、請求項1に記載の太陽熱収集器レシーピングチューブ。

【請求項7】

前記結合手段(22; 32)が弾性を有する、請求項6に記載の太陽熱収集器レシーピングチューブ。

【請求項8】

閉じた端部の結合(22; 32)が1つ以上のばねを含む、請求項7に記載の太陽熱収

集器レシーピングチューブ。

【請求項 9】

前記ばねが形状記憶要素を含む、請求項 8 に記載の太陽熱収集器レシーピングチューブ。

【請求項 10】

閉じた端部の結合が形状記憶要素または超弾性要素を含む、請求項 6 に記載の太陽熱収集器レシーピングチューブ。

【請求項 11】

前記結合が 1 つ以上のばねをさらに含む、請求項 10 に記載の太陽熱収集器レシーピングチューブ。